

若い老人ククアレ

こんとちや

君んち 稲 かり終つたの

存んとかね

のこつてりたう まつたうよ

あつたとう 耳とやれ 耳とよと たいまよ

あかつた 手つたうよ

えれ水終つた

今年も豊年分作で

村は徳出の 町まつり日

とやう

子あつて そんな ことかやると

いい所 は たいしくなるもの

そう思つても

あつて そうはいかぬ

おとあつて 知らぬ人 あつたことあつた

印年かき きては

近所はいい

あつたあつた

あつたあつたあつた あつた と 元気よく

声をわけてくれた

高層もつづく 用店

店が身ともなる

仲よくしはれ相本かいなる

せう力ち 正 早々と天回へ行つてしをうた

獲つていさ人も

知りなれんはなり

老んくろが 五つくろろり とろり 町内も声もなけり

広の絆国はと 年とわたり

賛国する人 この五心と手わ

はゆた だれにもお言つていなる

来り人いなる

草伝が父要と時 新ぶか存わつた

若い老人くろが つくれたういなる

2025
2/26